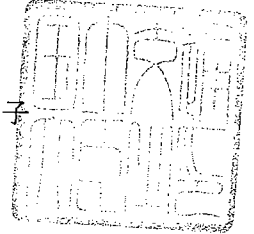


認 定 書

国住指第 7906 号
平成 14 年 12 月 25 日

積水化学工業株式会社
代表取締役 大久保 尚武 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PS060FL-0072

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

給・排水管/モルタル・黒鉛含有ブチルゴムシート裏張/アルミニウムはく張/
ガラスクロス充てん/床耐火構造/貫通部分（中空床を除く）

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(別添)

1. 構造名

給・排水管／モルタル・黒鉛含有ブチルゴムシート裏張／アルミニウムはく張／
ガラスクロス充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
開口部	(面積) 0.0196㎡ 以下 (φ0.158m以下) (形状) 円形
占積率 (開口面積に対する給排水管断面積の総合計の割合)	52.1% 以下
貫通する床の構造等	ALCパネル 厚さ 100以上 コンクリート 厚さ 70以上

3. 材料構成

(寸法単位：mm)

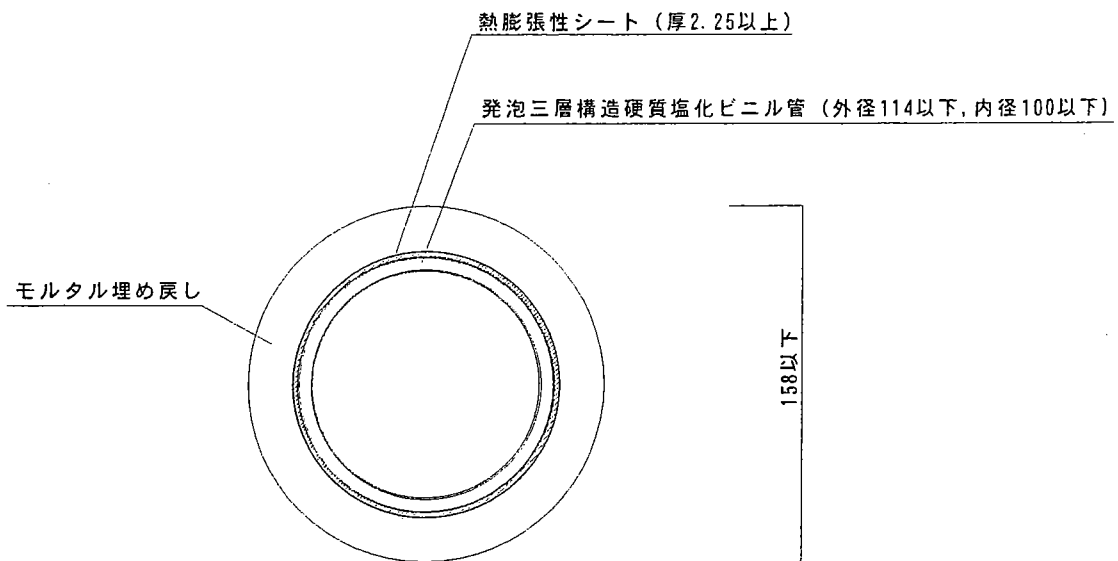
項目	申請構造		
給・ 排水 管	発泡三層構造硬質 塩化ビニル管	規格	塩化ビニル管・継手協会規格 AS.59
		外径 内径	114以下 100以下
防 火 措 置 材 料	膨張材 「黒鉛含有ブチルゴム シート裏張／アルミニウムは く張ガラスクロス」 (以下、熱膨張性シ ートという)	材 質	モルタル
		厚 さ	100以上 (コンクリートの場合 70以上)

(別添-1)

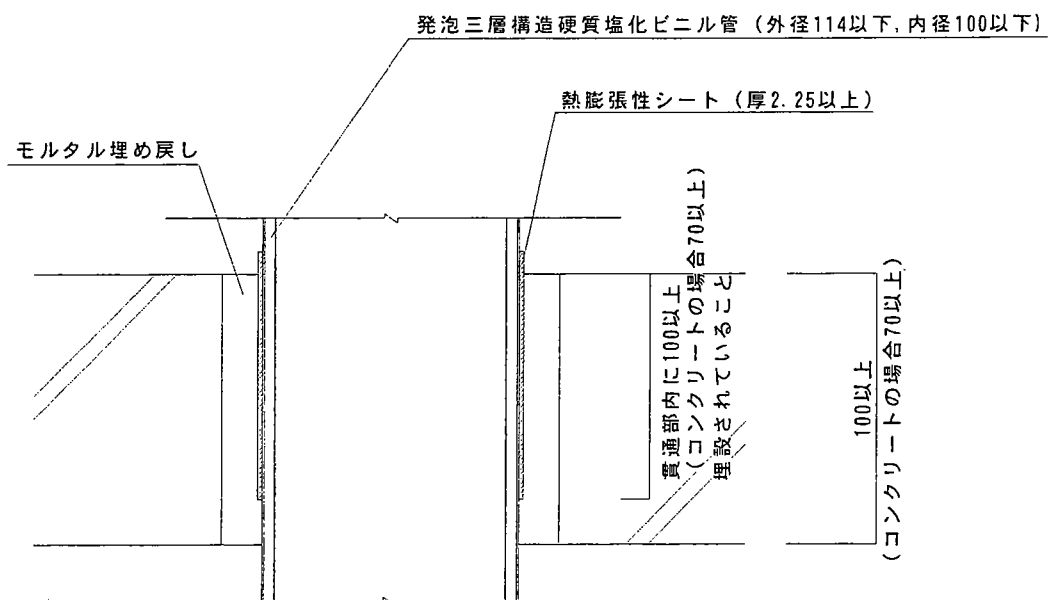
4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

・正面図



・断面図



注) 寸法は3のとおり

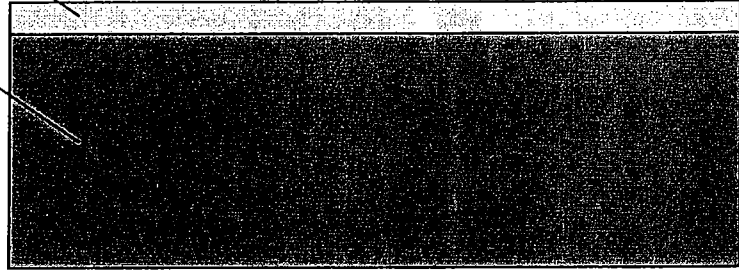
(別添-2)

(寸法単位: mm)

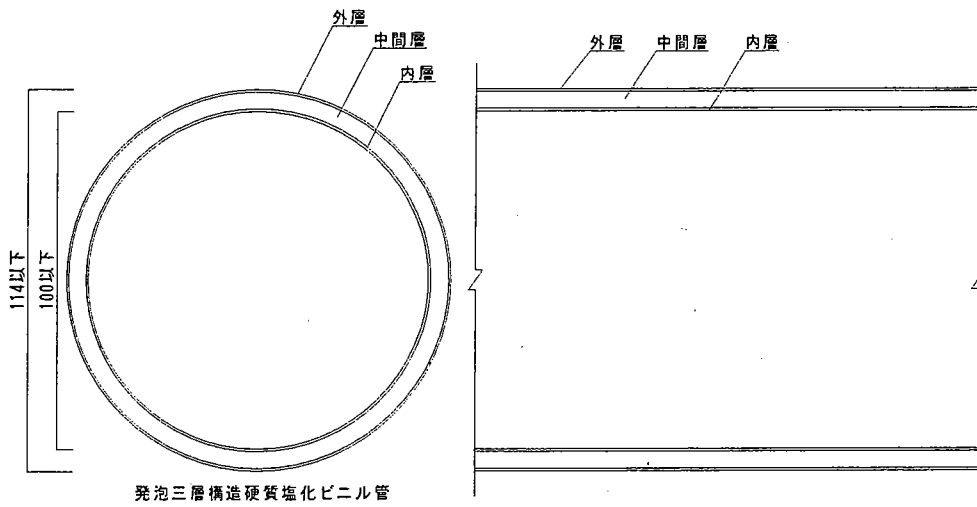
熱膨張性シート図

アルミニウムはく張
ガラスクロス (厚0.25)

黒鉛含有
ブチルゴムシート (厚2以上)



硬質塩化ビニル管図



注) 寸法は3のとおり

5. 施工方法
〈施工手順〉

(1) 事前準備

(1)-1 開口部の設置

管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する（開口径φ158mm以下）。

(2) 区画貫通処置

(2)-1 配管前の場合

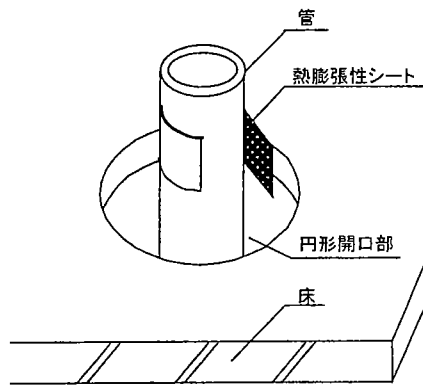
①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

熱膨張性シートを巻き付ける位置に墨出しをする。

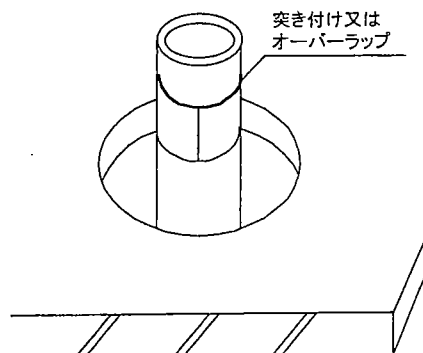
墨の位置は巻き付けた熱膨張性シートが確認でき、かつ熱膨張性シートが100mm以上貫通部に入る位置となるようにする。

②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。

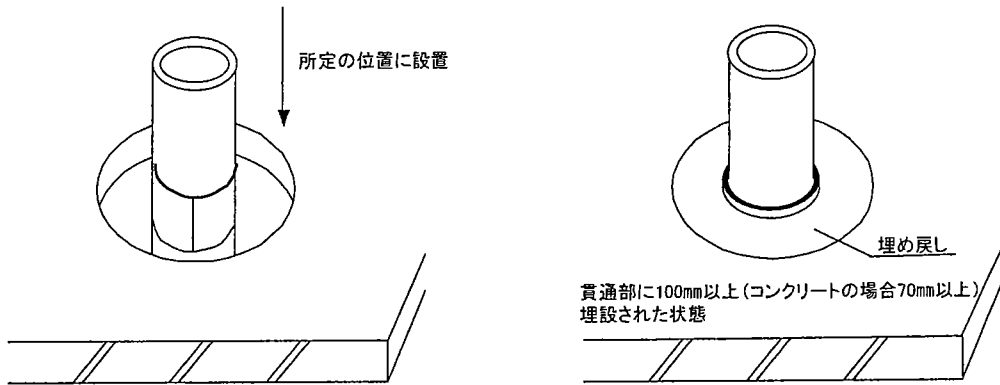


また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける（オーバーラップ可）。



③開口部の埋め戻し

開口下部に当て板をし、モルタルで埋め戻しする。



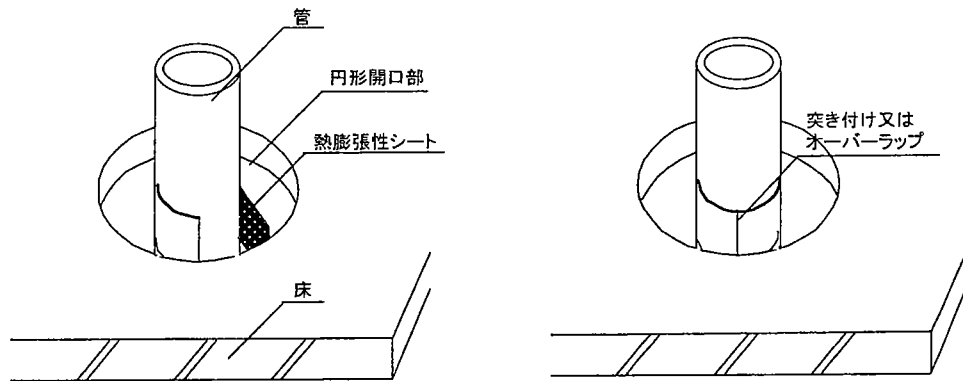
(2)-2 配管後の場合

①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

熱膨張性シートを巻きつける位置に墨出しをする。

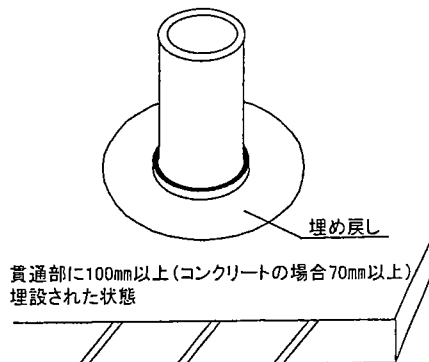
②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける(オーバーラップ可)



③開口部の埋め戻し

開口下部に当て板をし、モルタルで埋め戻しする。

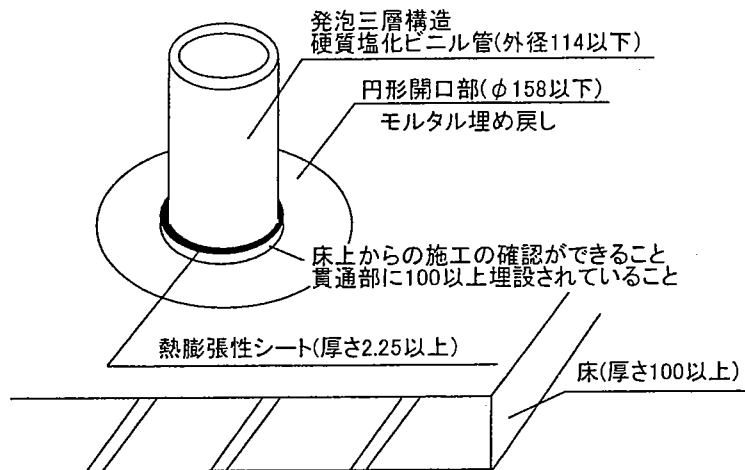


〈施工図〉

(寸法単位：mm)

- ・ 斜視図

〈ALCパネルの場合〉



〈コンクリートの場合〉

